

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 3412

ガードシールZ

1. 一般名 湿潤鋼材面用エポキシ樹脂塗料
 2. 規格 社内規格
 3. 特徴 1) 湿潤面の塗装が可能ですぐれた塗膜が得られる。
 2) 淡水、海水中に没水されるコンクリート構造物、鋼構造物に適用可能である。
 3) 低粘度であり塗装作業性が良い。

4. 塗料性状

項目	内容			
容姿	2液性			
荷姿	5kg缶 (主剤: 2.5kg、硬化剤: 2.5kg)			
色相	ブルー、グレー			
光沢	つや有り			
密度 (23°C)	塗料	1.45 (グレー)		
	揮発分	—		
加熱残分	98% (理論値) (グレー)			
乾燥時間	温度	10°C	20°C	30°C
	指触	10時間	5時間	4時間
	半硬化	24時間	16時間	12時間
目標膜厚	500µm/1回			
引火点	SDS参照			
発火点	SDS参照			
爆発限界 (下限~上限)	SDS参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

6. 施工上の注意

- サンドブラスト、水中サンダー、ワイヤーブラシ、マジクロン等を併用し、被塗面の錆層、異物等を除去、清浄にする。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しない事がある。
- シンナーで希釈しないこと。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使いきること。
- 塗装間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので、必ず規定時間以内で塗り重ねを終了すること。規定時間以上経過した場合は、塗膜表面をサンドペーパー、マジクロン等で目荒らしし調整してから塗装すること。
- 乾燥過程中に水で濡れると塗膜表面は白化変色することがあるが、性能上の問題はない。
- 気温が10°C以下では塗料の乾燥が極端に遅くなるので、使用の際には注意すること。
- 塗装終了後の使用器具は直ちにエポニックスシンナーBで十分に洗浄すること。
- 塗装直後に没水環境となっても塗膜は硬化するが、波浪等物理的外力を受ける恐れのある環境では塗膜が硬化状態になるまでは適切な養生が必要である。

5. 塗装基準

項目	内容			
素地調整	サンダー、サンドブラスト処理			
調合法	主剤: 50部、硬化剤: 50部 (重量比)			
可使時間	10°C	20°C	30°C	
	60分	45分	20分	
洗浄用シンナー	エポニックスシンナーB			
塗 装 法	塗装方法	ローラー、刷毛、ヘラ		
	希釈率	希釈しない事 (原液のまま使用)		
	標準使用量	1.0 kg/m ²		
	目標膜厚	500µm/1回		
	ウェット管理膜厚	500µm		
塗装間隔	温度	10°C	20°C	30°C
	最小	24時間	16時間	12時間
	最大	7日	7日	7日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第3石油類	第4類第3石油類
有機溶剤区分	—	—
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意 [警告]

- (1) 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。